

鉱工業指数参考図表集  
(平成28年12月速報)

平成29年1月31日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成28年12月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

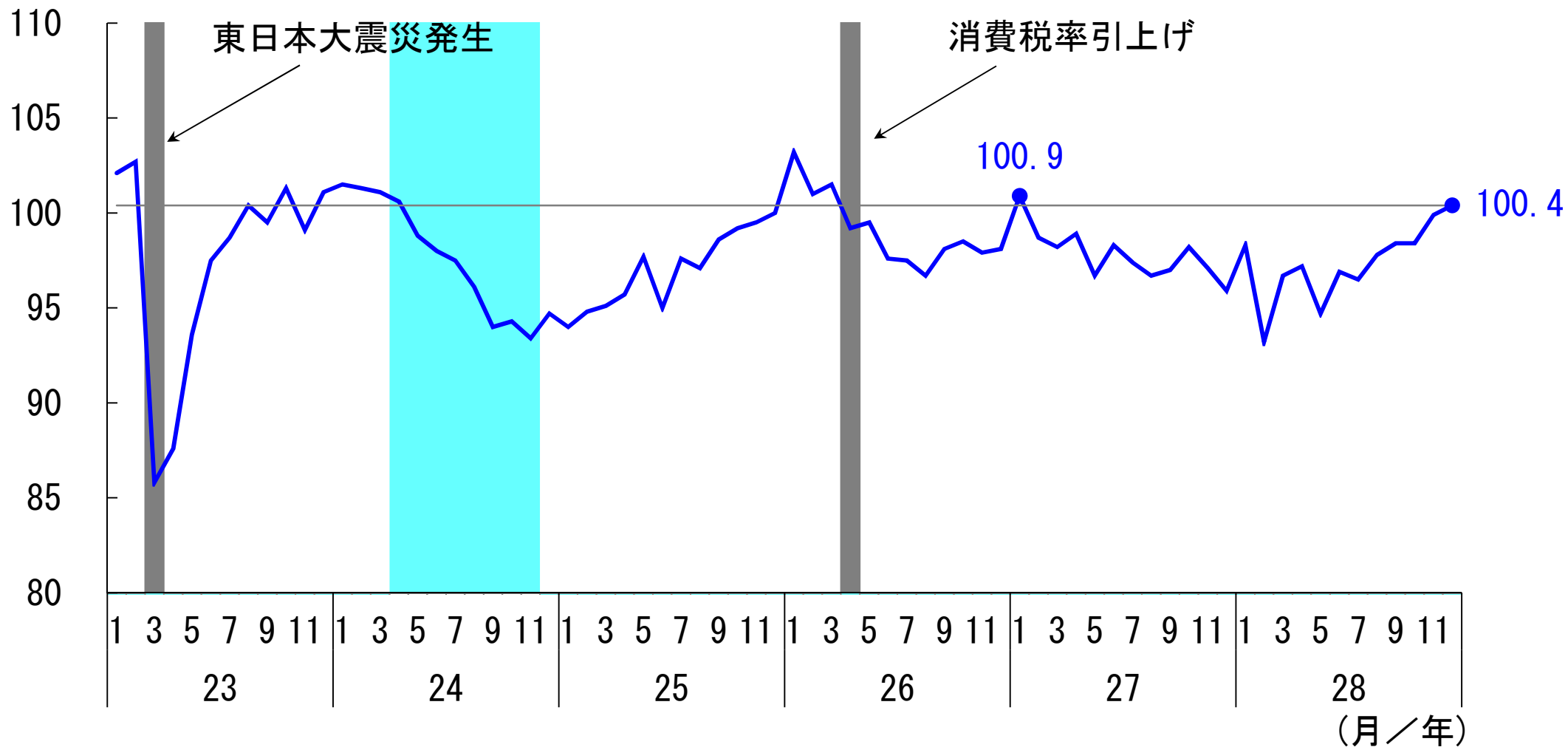
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	100.4	99.0	107.1	108.8
前月比	0.5%	-0.3%	0.2%	0.9%
指数水準	H27. 1 100. 9以来  I H20. 2 117. 3 II H20. 1 117. 0 III H20. 3 116. 2	H28. 10 98. 3以来  ①H21. 2 79. 2 ②H21. 3 79. 7 ③H21. 4 80. 7	H28. 10 108. 6以来  I H20. 12 119. 8 II H21. 1 119. 5 III H20. 11 119. 1	H28. 10 114. 2以来  I H21. 2 155. 6 II H21. 1 150. 2 III H21. 3 146. 3
前月比の動き	2か月連続+ (H28.11~当月)	4か月ぶり- (H28.8以来)	4か月ぶり+ (H28.8以来)	3か月ぶり+ (H28.9以来)
前月比幅	H28. 11 1. 5%以来  I H23. 5 6. 8% II H21. 4 4. 4% III H23. 6 4. 2%	H28. 8 -1. 1%以来  ①H23. 3 -15. 7% ②H21. 1 -9. 5% ③H20. 12 -7. 1%	H28. 8 0. 3%以来  I H23. 5 4. 7% II H28. 3 2. 9% III H24. 3 2. 5%	H28. 9 1. 1%以来  I H20. 11 13. 2% II H20. 12 9. 9% III H21. 1 9. 8%
前年同月比(原指数)	3.0%	2.4%	-5.0%	-6.5%
前年同月比の動き	2か月連続+ (H28.11~当月)	2か月連続+ (H28.11~当月)	6か月連続- (H28.7~当月)	2か月連続- (H28.11~当月)
前年同月比幅	H28. 11 4. 6%以来  I H22. 3 29. 2% II H22. 2 28. 8% III H22. 4 23. 8%	H28. 11 5. 1%以来  I H22. 3 28. 4% II H22. 2 27. 0% III H22. 4 25. 4%	H25. 11 -5. 1%以来  ①H21. 12 -17. 6% ②H22. 1 -16. 8% ③H21. 11 -16. 4%	H28. 11 -6. 7%以来  ①H22. 2 -34. 0% ②H22. 3 -33. 8% ③H22. 1 -32. 1%

(注) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鋳工業生産指数の動向

- ・平成28年12月の鋳工業生産指数は、100.4(前月比0.5%)と2か月連続の上昇。
- ・平成27年1月の100.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。  
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。

# 平成28年12月の鉱工業生産の基調判断

## 「生産は持ち直しの動き」

### 基調判断の推移

- 平成26年12月～平成27年4月  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成27年5月～7月  
「生産は一進一退」
- 平成27年8月  
「生産は弱含み」
- 平成27年9月～平成28年5月  
「生産は一進一退」
- 平成28年6月、7月  
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- 平成28年8月～10月  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成28年11月～  
「生産は持ち直しの動き」

### 鉱工業生産指数

#### 四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

		指数	前期比 (%)
平成27年	Ⅳ期	97.1	0.1
平成28年	Ⅰ期	96.1	-1.0
	Ⅱ期	96.3	0.2
	Ⅲ期	97.6	1.3
	Ⅳ期	99.6	2.0
平成29年	Ⅰ期	(103.8)	(4.2)

(注)

上記の平成29年Ⅰ期の( )及び右表の平成28年12月、平成29年1月の( )内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したもの。

#### 月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

		指数	前期比 (%)
平成27年	1月	99.2	0.2
	2月	99.3	0.1
	3月	98.6	-0.7
	4月	97.9	-0.7
	5月	98.0	0.1
	6月	97.5	-0.5
	7月	97.5	0.0
	8月	97.0	-0.5
	9月	97.3	0.3
	10月	97.4	0.1
	11月	97.1	-0.3
	12月	97.1	0.0
平成28年	1月	95.8	-1.3
	2月	96.1	0.3
	3月	95.7	-0.4
	4月	96.2	0.5
	5月	96.3	0.1
	6月	96.0	-0.3
	7月	97.1	1.1
	8月	97.6	0.5
	9月	98.2	0.6
	10月	98.9	0.7
	11月	99.6	0.7
	12月	(101.2)	(1.6)
平成29年	1月	(102.7)	(1.5)



# 平成28年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	2.0%	80.3%
	品目	自動車部品	2.4%	33.9%
		乗用車	2.0%	32.1%
	2位の業種	化学工業（除. 医薬品）	1.8%	36.2%
	品目	石けん・合成洗剤・界面活性剤	8.9%	18.8%
		石油系芳香族	5.9%	8.4%
	3位の業種	電子部品・デバイス工業	2.0%	34.4%
品目	電子部品	4.2%	34.3%	
	半導体部品	3.5%	3.6%	
鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	情報通信機械工業	-10.7%	-55.3%
	品目	電子計算機	-9.8%	-21.6%
		通信機械	-16.5%	-20.5%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-0.4%	-12.7%
	品目	ボイラ・原動機	-14.7%	-31.8%
		金属工作機械	-9.6%	-22.1%
	3位の業種			
品目				

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 平成28年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

## <全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	運搬機械	97.9%	79.0%
	2位	電子部品	4.2%	34.3%
	3位	自動車部品	2.4%	33.9%
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	ボイラ・原動機	-14.7%	-31.8%
	2位	金属工作機械	-9.6%	-22.1%
	3位	電子計算機	-9.8%	-21.6%

## <財別＝用途別>

		解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財		1.3%	131.3%
		ファインセラミックス（機能材）	11.6%	14.1%	
		コネクタ	12.3%	10.6%	
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財		0.8%	16.7%
		軽乗用車	16.9%	21.1%	
		セパレート形エアコン	12.9%	18.7%	
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財		0.5%	5.6%
		橋りょう	7.3%	4.5%	
		ビル用アルミニウムサッシ	3.8%	1.9%	
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財		0.0%	0.0%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）		-1.7%	-55.7%
		一般用蒸気タービン	-67.3%	-35.9%	
		分析機器	-13.3%	-15.3%	

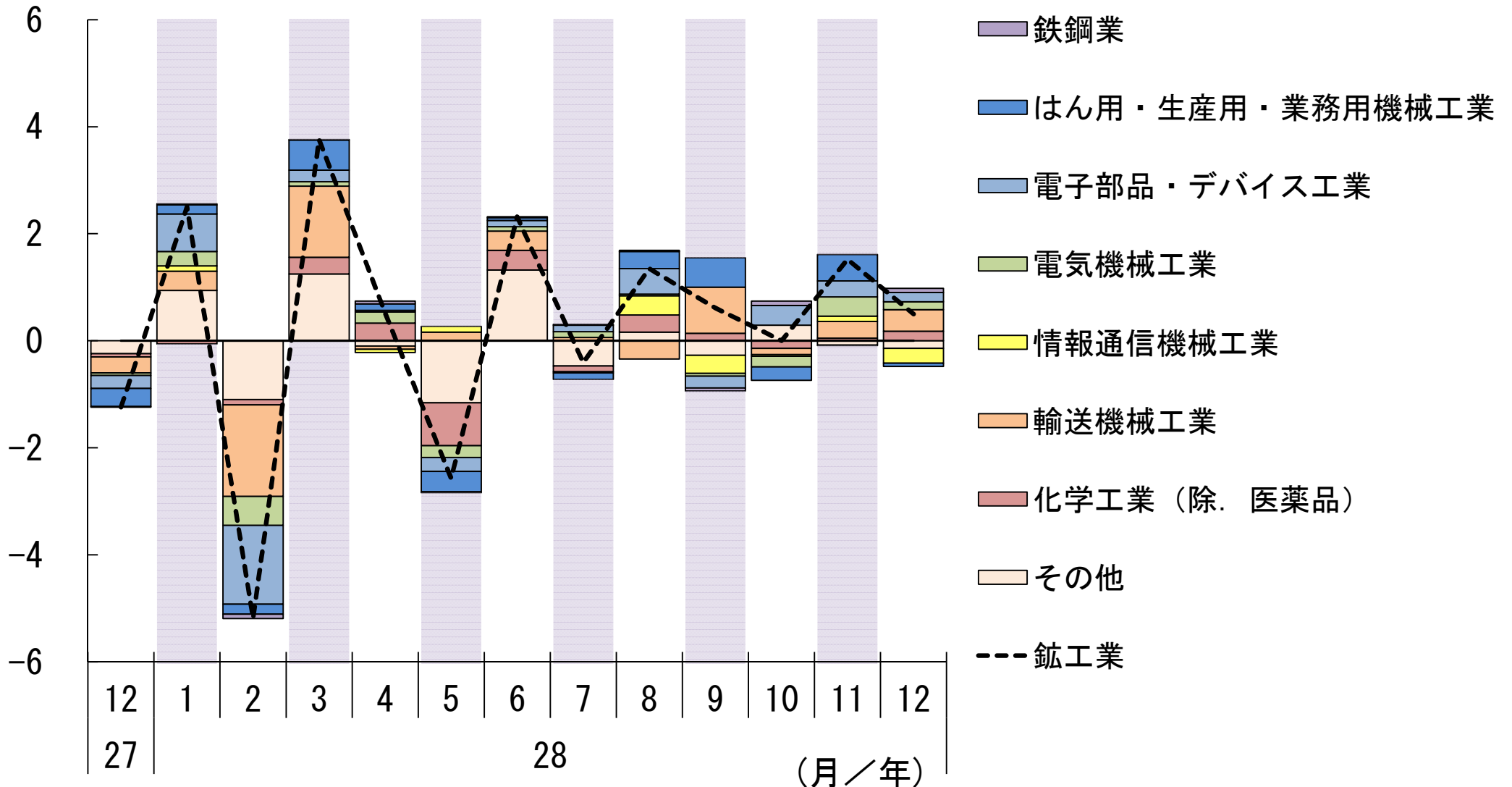
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成28年12月の生産指数は、情報通信機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比0.5%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

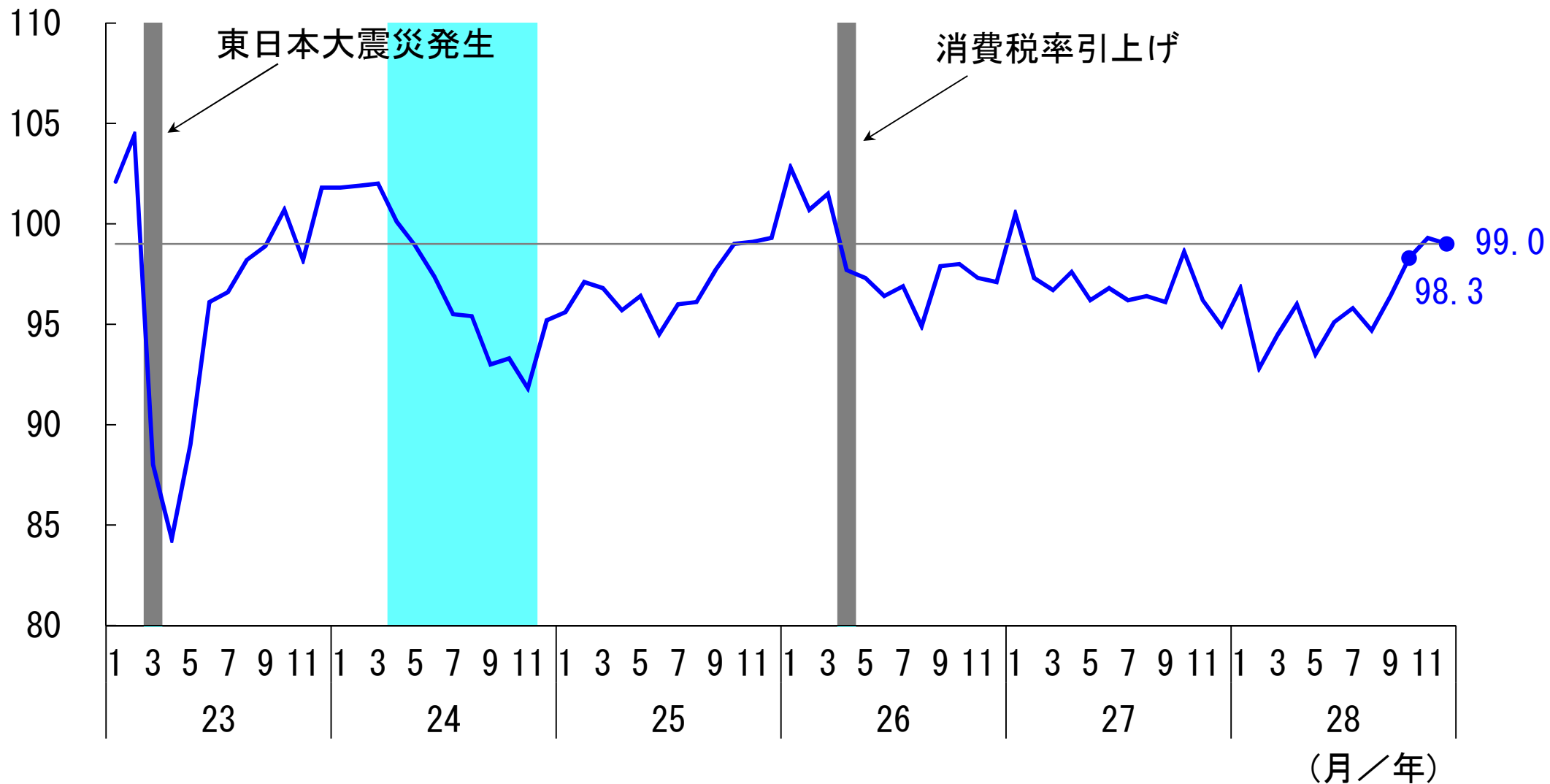




# 鋳工業出荷指数の動向

- ・平成28年12月の鋳工業出荷指数は、99.0(前月比-0.3%)と4か月ぶりの低下。
- ・平成28年10月の98.3以来の指数水準。

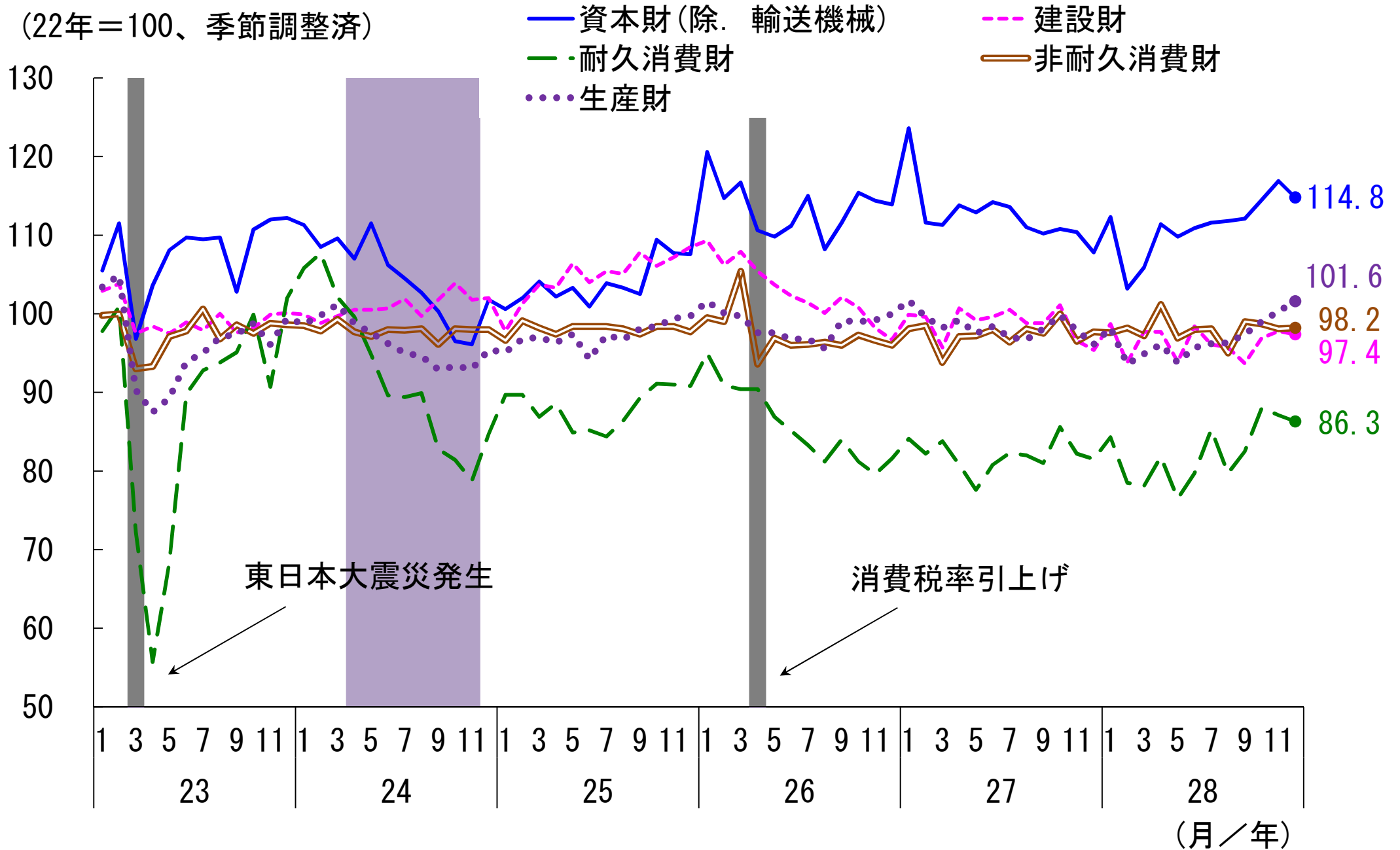
(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

# 財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

# 平成28年12月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

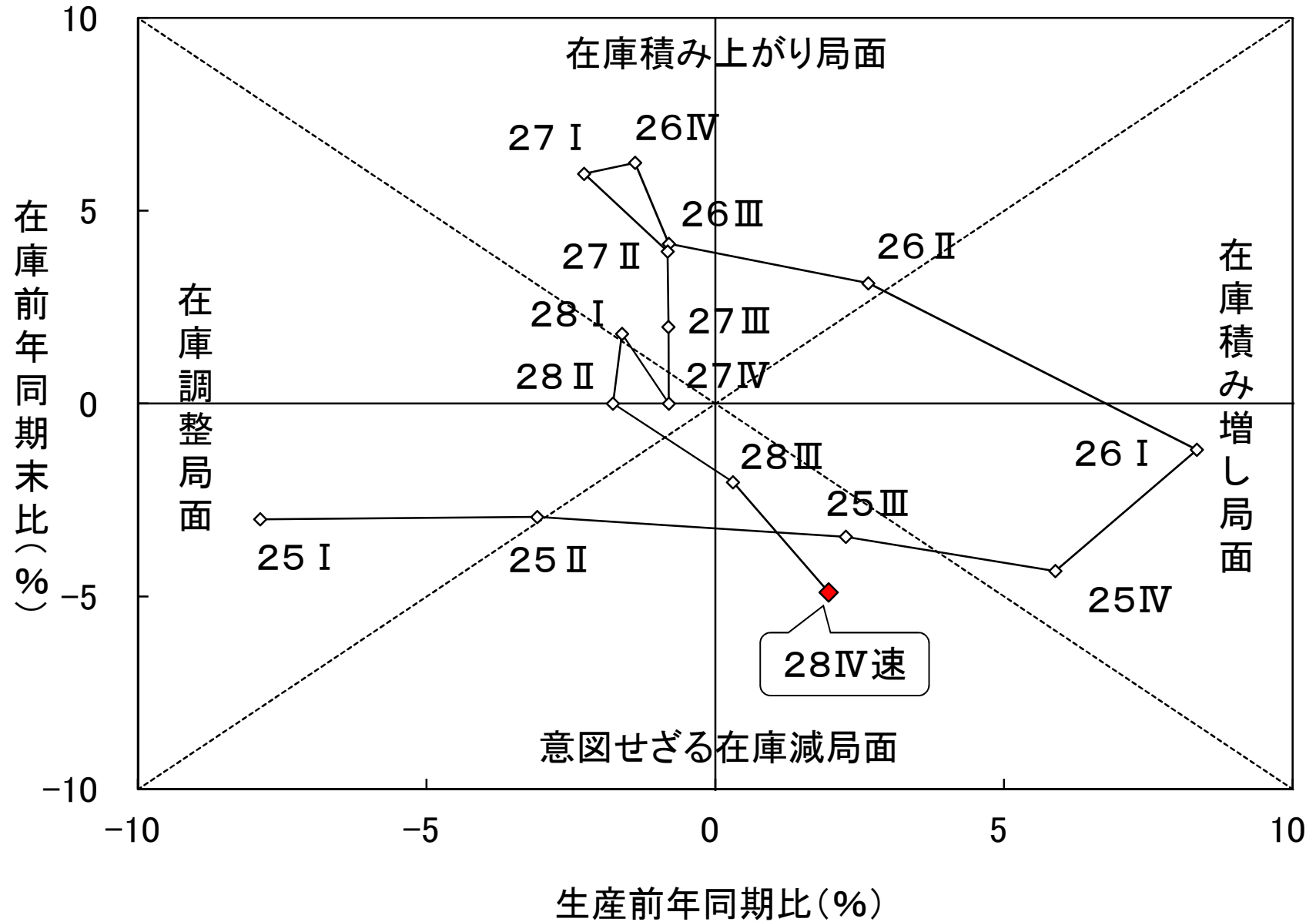
	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	<b>資本財 (除. 輸送機械)</b>	<b>-1.8%</b>	<b>-82.4%</b>
		一般用蒸気タービン	-64.2%	-57.6%
		分析機器	-14.0%	-27.0%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	<b>耐久消費財</b>	<b>-0.9%</b>	<b>-40.6%</b>
		小型乗用車	-7.5%	-51.4%
		携帯電話	-21.6%	-23.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	<b>建設財</b>	<b>-0.4%</b>	<b>-7.3%</b>
		鉄骨	-14.8%	-18.0%
		H形鋼	-8.8%	-5.0%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	<b>非耐久消費財</b>	<b>0.1%</b>	<b>3.9%</b>
		ガソリン	2.9%	16.1%
		シャンプー	12.8%	6.5%
生産財	原材料として投入される製品	<b>生産財</b>	<b>1.3%</b>	<b>218.0%</b>
		モス型半導体集積回路 (CCD)	29.3%	83.2%
		モス型半導体集積回路 (メモリ)	12.4%	40.6%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

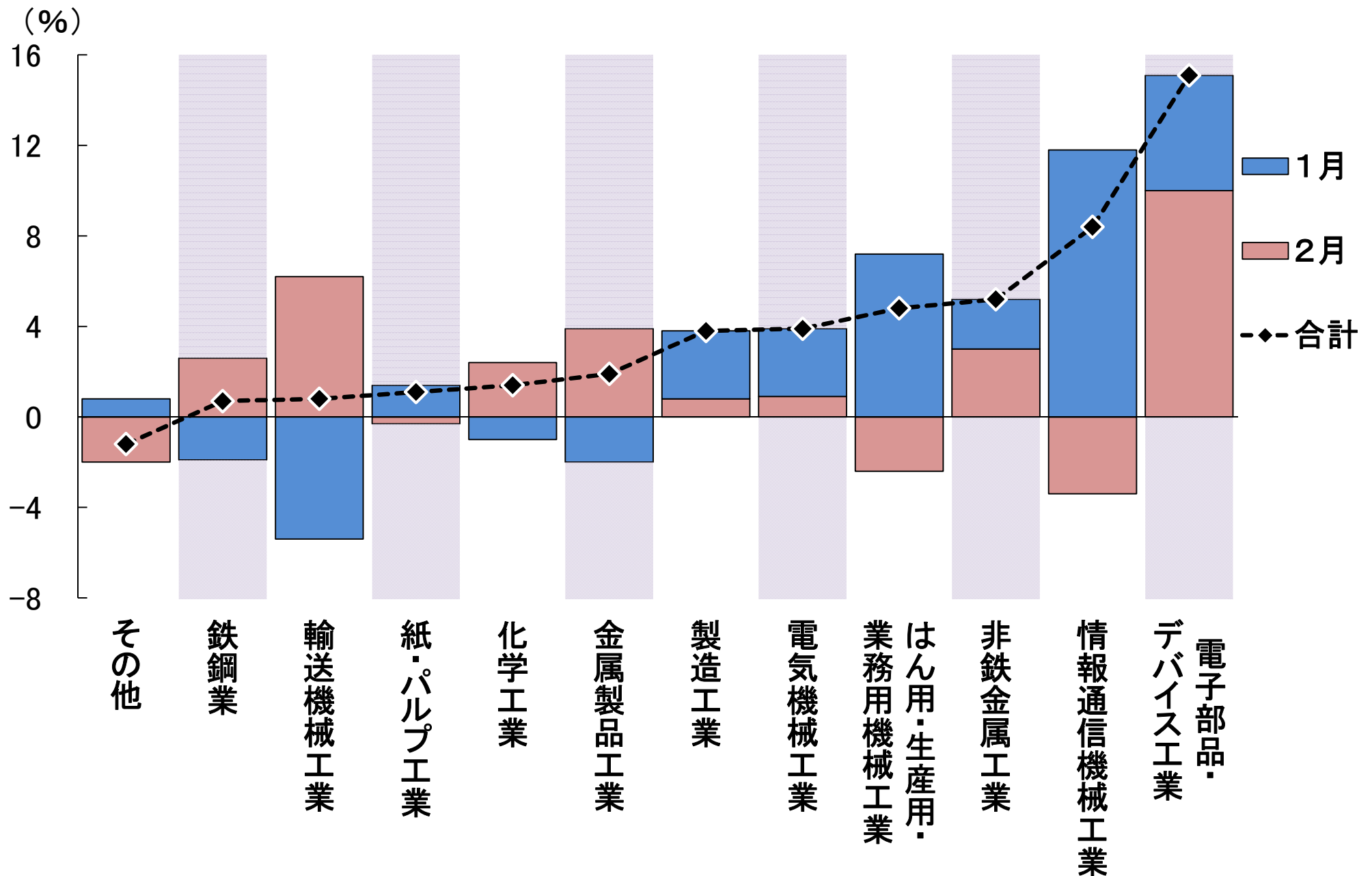




# 鋁工業の在庫循環図



## 2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



# 平成28年10-12月期の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	99.6	98.9	107.1	110.3
前期比	2.0%	3.5%	-3.4%	-4.3%
指数水準	H26 I 101.9以来 I H20 I 116.8 II H20 II 114.8 III H20 III 110.5	H26 I 101.7以来 I H20 I 118.2 II H20 II 115.0 III H20 III 109.4	H26 I 106.8以来 ①H23 I 97.7 ②H21IV, H22 III 99.1 ③H22 I 99.6	H26 II 108.7以来 ①H20 I 96.8 ②H22 III 97.9 ③H20 II 98.1
前期比の動き	3期連続+ (H28 II ~ 当期)	3期連続+ (H28 II ~ 当期)	3期連続- (H28 II ~ 当期)	2期連続- (H28 III ~ 当期)
前期比幅	H26 I 2.3%以来 I H21 IV, H23 III 7.1% II H21 III 6.1% III H21 II 5.3%	H23 III 9.0%以来 I H23 III 9.0% II H21 IV 7.7% III H21 III 6.3%	H23 I -4.2%以来 ①H21 I -7.2% ②H21 II -5.9% ③H23 I -4.2%	H25 IV -4.4%以来 ①H21 II -12.1% ②H21 III -11.7% ③H21 IV -8.4%
前年同期比(原指数)	2.0%	1.7%	-5.0%	-4.1%
前年同期比の動き	2期連続+ (H28 III ~ 当期)	10期ぶり+ (H26 II 以来)	2期連続- (H28 III ~ 当期)	11期ぶり- (H26 I 以来)
前年同期比幅	H26 II 2.7%以来 I H22 I 24.8% II H22 II 19.7% III H22 III 14.6%	H26 I 7.4%以来 I H22 I 24.8% II H22 II 20.6% III H22 III 13.8%	H22 I -10.5%以来 ①H21 IV -17.6% ②H21 III -12.4% ③H22 I -10.5%	H26 I -9.6%以来 ①H22 I -33.2% ②H22 II -25.4% ③H22 III -16.1%

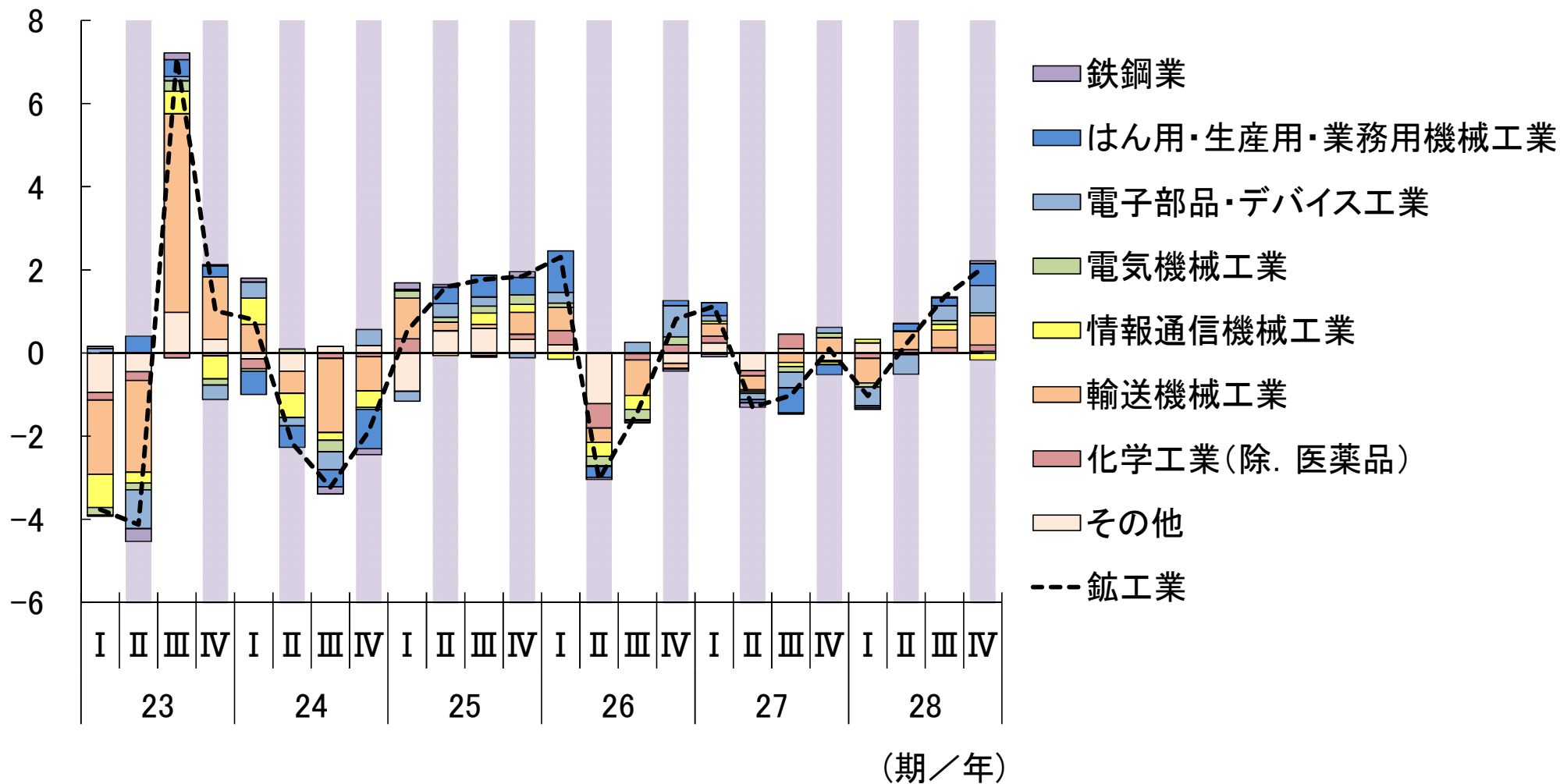
(注) I ~ IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値



# 鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 平成28年10-12月期の生産指数は、情報通信機械工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前期比2.0%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



# 平成28年の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

年次	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	97.6	96.1	106.7	114.6
前年比	-0.2%	-0.8%	-5.0%	0.4%
指数水準	H25 97.0以来 ①H21 86.5 ②H25 97.0 ③H23 97.2	H21 86.6以来 ①H21 86.6 ②H28 96.1 ③H23 96.3	H25 105.7以来 ①H21 100.5 ②H22 102.9 ③H23 105.0	H21 127.2以来 ⅠH21 127.2 ⅡH28 114.6 ⅢH27 114.2
前年比の動き	2年連続- (H27～当年)	2年連続- (H27～当年)	3年ぶり- (H25以来)	3年連続+ (H26～当年)
前年比幅	H27 -1.2%以来 ①H21 -21.9% ②H23 -2.8% ③H27 -1.2%	H27 -1.3%以来 ①H21 -21.7% ②H23 -3.7% ③H27 -1.3%	H21 -17.6%以来 ①H21 -17.6% ②H28 -5.0% ③H25 -4.3%	H27 4.0%以来 ⅠH21 20.3% ⅡH23 8.1% ⅢH24 4.7%

(注) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鋁工業生産指数前年比 業種別の影響度合い

- 平成28年の生産指数は、輸送機械工業などが上昇したものの、電子部品・デバイス工業などが低下したため、前年比-0.2%の低下。

(原指数、前年比、%、%ポイント)

